永田議長あいさつ

広島市議会議長の永田でございます。不慣れではございますが、英語でスピーチをさせていただきます。まずは、本日はこのような会にお招きいただき、また、貴重なお時間をいただきありがとうございます。

さらに、毎年８月６日に行われる本市の平和記念式典に、多く大使の皆々に遠く広島までお越しいただき、大変ありがとうございます。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

本日、このようなプレゼンテーションの機会をいただいたきっかけは、その平和記念式典前日の夕刻、大使の皆様をお招きする歓迎レセプションであります。その場で、皆様と平和についてお話しする中で、本市市長が会長を務め、核兵器廃絶と世界恒久平和を目指すことを目的に、世界７５００都市以上が共に活動する世界平和首長会議に、アフリカ諸国の加盟都市を少しでも増やすことができれば、同会議がより強固になると感じたことが発端です。

これまでお伺いした、アンゴラ共和国、モーリタニア・イスラム共和国、ジンバブエ共和国、そしてエリトリア国、いずれの大使の皆様とも同様に、私を温かく迎えていただき、貴重な時間を割いて、お話を熱心にお聞きいただきました。

そして、皆様とお話しする中、アフリカ諸国大使のブロック会議が毎月開催されることをお聞きし、在京アフリカ外交団の団長であるアフォワキ大使に、このブロック会議で、お話する機会を与えていただけないかとお願いしたところ、快くご了解いただいたわけでございます。

私たち広島市議会も、広島に降りかかった未曾有の惨禍が、再び繰り返されることは決して許さないという固い信念のもと、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現というヒロシマの願いを一貫して訴え続けております。

昨年、核兵器禁止条約が国連で採択された折には、条約の早期発効を求める意見書を全会一致で可決し、政府に訴えかけるなど、内外の関係者に、広島市議会の意志を表明しております。

皆様には、本日の説明をお聞きいただいた上で、本市と、平和首長会議加盟都市の核兵器廃絶と世界恒久平和への思いをぜひともご理解いただき、本国の都市の加盟についてご支援賜りますようよろしくお願いいたします。